

# AJ

AQUA JOURNAL  
Nature Aquarium  
information magazine  
Apr. 2024 100YEN

vol.  
342

[ SPECIAL FEATURE ]

# STYLE OF EPIPHYTIC PLANTS

「着生スタイル」

【巻頭グラビア】

## NATURE IN THE GLASS

マングローブに思いを馳せて

DOOA STYLE #27

「ネオグラス エアに水草浪漫を込めて」

IAPLC CREATOR'S FILE #12

「Insik Chung / Republic of Korea」

ADA LAB Report Vol.03

「ADA LAB HARAJUKU」

CREATOR'S VOICE Vol.03

「Kota Iwahori」

CLOSE UP JUNGLE PLANTS #08

LOVE ADA GOODS #20

ネイチャーコラム 第37回

「鳥が虫か、それとも獣か。」



【 マングローブに思いを馳せて 】

この水景はマングローブ林の原風景をモチーフに、心象風景を掛け合わせて制作を行った。そこで生息する強かな木々の根をイメージして流木レイアウトの構成としている。高い光量下で美しく生長するタイガーロータスの下でマイクロソラムなどの陰生水草が繁茂し、陰と陽の好む環境が異なる水草が互いに共存し合いながら生育環境を整えていく様子を狙った。

©AQUA DESIGN AMANO

DATA

撮影日 2023年3月28日(ADA)  
 制作 内田 成 (レイアウト制作・文)  
 水槽 キューブガーデン W1,200×D500×H500 (mm)  
 照明 ソーラーRGB ×2 (1日8時間30分点灯)  
 ろ過 スーパージェットフィルター ES-1200 (バイオリオG)  
 素材 ホーンウッド、溪石  
 底床 アクアソイル-アマゾン Ver.2、パワーサンド・アドバンスM、バクター100、クリアスーパ、トルマリンBC、コロラドサンド

CO<sub>2</sub> CO<sub>2</sub>/パレングラス・ビートル400、CO<sub>2</sub>ピートルカウンターで1秒に5滴(タワー使用)  
 AIR リリバイブP-6によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分  
 添加剤 プライティK、グリーンプライティ・ミネラル、グリーンプライティ・アイアン、グリーンプライティ・ニトロ  
 換水 1週間に1度 1/3  
 水質 水温25℃ pH:6.2 TH:50mg/L

水草 タイガーロータスレッド、ニムファエア・イクトス、オレンジミリオフィラム、ロターラ・レディッシュ、ロターラ・インレー、エリオカロンsp.、ソーシャルフェザーダスター、マイクロソラム・ナローリーフ、アヌビアス・キリン 'ミニ'、ブセファランドラ・シンタン(BIO)\*、ブセファランドラsp.、ウイローモス(モスバッグ)\*

*Nymphaea lotus 'Red'*  
*Nymphaea sp. 'Iquitos'*  
*Myriophyllum sp.*  
*Rotala rotundifolia 'Reddish'*  
*Rotala rotundifolia 'Inle'*  
*Eriocaulon sp. 'Social Feather Duster'*  
*Microsorium sp. 'Narrow Leaf'*  
*Anubias sp. 'Kirin mini'*  
*Bucephalandra sp. 'Sintang'*  
*Bucephalandra sp.*  
*Taxiphyllum barbieri*

魚種 ターコイズダニオ、クテナポス・ノビリス、マイクロラスボラブルーネオン、ベルヴィカクロミス・タエニアートゥス、サイアミーズ・フライングフォックス、オトシンクルス、ヤマトヌマエビ

*Devario devario*  
*Ctenopoma nobilis*  
*Microdevario kubotai*  
*Pelvicachromis taeniatus 'Nigeria Red'*  
*Crossocheilus oblongus*  
*Otocinclus sp.*  
*Caridina multidentata*

※はADA生体製品ラインナップです。

## NATURE IN THE GLASS

Naru Uchida W1200×D500×H500

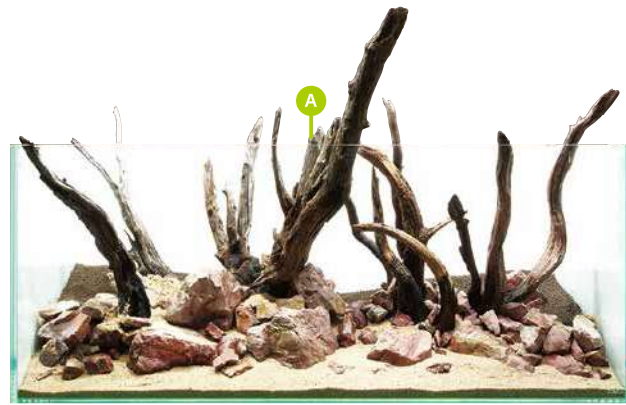
視覚的な美しさだけでなく、  
魚の気持ちに寄り添った水景

構図

縦のラインを意識した  
揺るがない構図構成

**A** 安定した構図骨格は維持管理において重要な要素

スイレンに光が当たるように縦のラインを意識して流木の配置を行っているため、流木の浮力も考慮して、構図の根元付近をサイズの異なる石を用いて念入りに固定した。



2022年10月4日 撮影

隙間に小石を丁寧に詰めてソイルの漏れ出しを防ぐ。見えないところの緻密さが水景のクオリティ向上につながる。



2022年10月5日 撮影

**B** ADAマテリアルの活用で水景に明るさを



淡橙色の溪石と色調の近いコロラドサンドを組み合わせることで、水景の足元を調和のとれたハイトーンな仕上がりに。砂地と溪石の境にモスを巻きつけた石を置くなどすると、作為性が弱まり、より自然的な印象を与えてくれる。

**C** パワーサンドとソイルの割合を調整した底床づくり



長期にわたって砂地の美観を損なわぬように、ソイルの漏れ出し防止を配慮し底床の斜度にも気をつけた。また、厚めに敷いたパワーサンドはスイレンやソーシャルフェザーダスターなどの根張りの良い水草の生育も考慮しており、底床内に十分な通水性を確保する目的がある。

植栽

より自然らしく  
美しく一体感を

流木や石にモスを巻き付けることは、自然感を演出する手法として数多くの水草レイアウトに取り入れられている。本水景では構図素材の印象を適度に和らげると共に、シダなどの着生水草と組み合わせることで水景に一体感を与えている。



完成

適度に水中に影が生まれた景観が作用したのか、魚たちも健やかに成長し、本来の美しい発色を見せてくれた。視覚的な美しさだけでなく、魚の気持ちに寄り添った水景クリエイティブがネイチャーアクアリウムの本質的な魅力と言えるのではないだろうか。



2023年3月28日 撮影

**D** メインプランツを引き立てる植栽

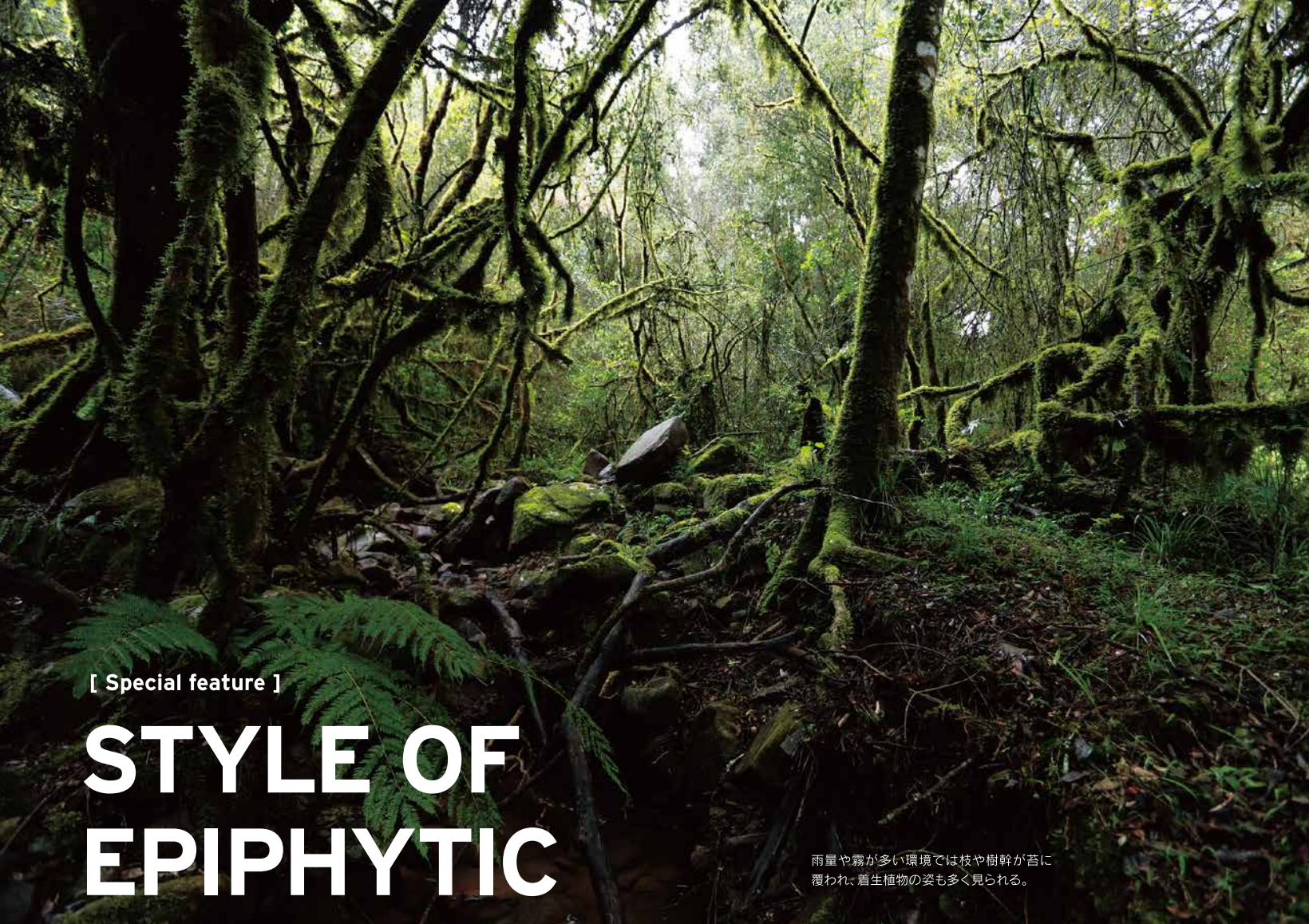


スイレンを展開させるために、株元まで光が当たるように中～背景にかけての広い植栽エリアを設けた。周辺の水草は植栽の密度を抑え、多種との混栽で扱いやすいソーシャルフェザーダスターや、挿し戻しや摘み取りで維持できる有茎草をチョイスした。

**E** 下層部の印象を決定するシダの配置



構図のコンセプトと浮葉を展開するスイレンの観賞を損なわぬよう、下層から中層にシダの範囲を限定している。単調に見えないよう、ミクロソラムは株同士の大きさに変化をつけ、色調の対比を狙ってペセファランドラをスポット的に配した。



[ Special feature ]

# STYLE OF EPIPHYTIC PLANTS

## 特集「着生スタイル」

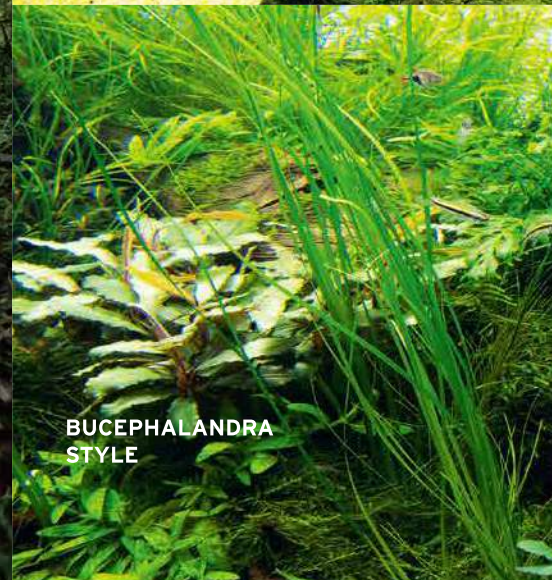
### 着生植物とネイチャーアクアリウム

多様な生態系を育てているジャングル。その中でもスコールや霧が多く発生するエリアでは倒木、樹幹や枝、岩壁などに根を張り生活する植物が存在します。これらは着生植物と呼ばれ、シダ類やサトイモ科、蕨苔類などに多く見られます。そのほとんどは生長が緩やかなため、これらが息づくエリアの自然景観はとても長い年月を経て創られたものです。そこからは壮大で濃密なエネルギーやドラマを感じることができ、そういった自然感をレイアウトに表現することがネイチャーアクアリウムの本質なのです。そうした自然感の表現に欠かすことができないのがボルビティスやアヌビアスなどの活着性水草です。活着性水草は育成に時間は掛かってしまいますが、その時間すらも後の楽しみや感動につなげてしまう玄人好みの魅力を持っています。活着性水草でつくるネイチャーアクアリウムの緩やかな自然の時をあなたも感じてみませんか？

雨量や霧が多い環境では枝や樹幹が苔に覆われ、着生植物の姿も多く見られる。



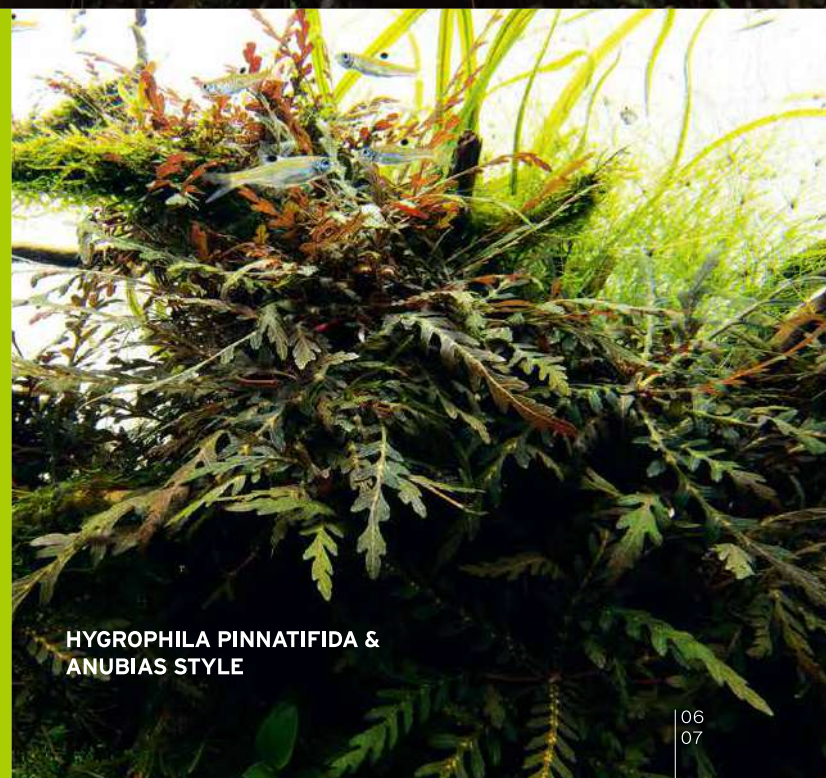
MOSS STYLE



BUCEPHALANDRA STYLE



MICROSORUM STYLE



HYGROPHILA PINNATIFIDA & ANUBIAS STYLE



BOLBITIS STYLE

## 活着性水草の効果的なレイアウトシーン

### 深く透明感あるシダ BOLBITIS STYLE

ボルビティス スタイル

ボルビティス・ヒュティロツティは透明感ある濃緑色が特徴の活着性の水生シダです。その色味から、流木を組んだ際にできた影の印象をナチュラルに残したいときや、幽玄な印象のレイアウトにしたい場合に適しています。

活着性水草は生長が緩やかなものが多く成熟するまでに長い時間を要しますが、その時間経過が深みある自然表現となりレイアウトの完成度を高めることができます。ここからは活着性水草を用いたレイアウトや管理ポイントなどをご紹介します。



W1,200×D450×H600 (mm)



このレイアウトではブランチュウツドの株元に活着させたことで、中景に独特の深みと立体感を生み出し、影を自然にいかしている。

#### NOTE

水流を好むため密生しすぎないように古葉の除去や間引きを行いながら、葉と影の適切なバランスを保ちましょう。また、ボルビティス・ヒュティロツティの水中葉はヤマトヌマエビの食害を受けやすいため導入数には気を付けましょう。



フイトンギット・プラス

ヒゲ状の藻類が付着するようであればフイトンギット・プラスで対処。



プロシザースM

#### NOTE

向きがそろっていない葉や過剰に湾曲している葉などはカットし、整った株姿に仕上げましょう。葉先が半透明のものは新葉ですので注意してください。

ミクソロラムの古葉を処理する際、奥まったところにある葉柄まで刃先でたどりカットしやすい。

ミクソロラム・ナローリーフの株が放射状に葉を展開させており、凸構図の枝の動きとシンクロしているように見ていて心地良い。



「群生の春」  
W1,800×D600×H600 (mm)

### 明るい背景へとつなげる MICROSORUM STYLE

ミクソロラム スタイル

鮮やかな緑色が印象的なミクソロラム(現レプトキルス属)の仲間は、背景に鮮やかな有茎草を用いる際の中景草として効果的です。構図素材の隠したい部分や流木の陰などをカバーしながら、グラデーションや補色効果を狙い配植しましょう。

古木から新芽が  
芽吹いているかのような水中演出

## HYGROPHILA PINNATIFIDA & ANUBIAS STYLE

ハイグロフィラ・ピンナティフィダ & アヌビアス スタイル

アヌビアスは陰生水草のため中景の流木などの陰になりやすい箇所に活着させるのが適しており、中景と背景を違和感なくつないでくれます。一方、ハイグロフィラ・ピンナティフィダは陽生水草のためアヌビアスの上方に配植するのがポイント。同じ活着系水草でも葉の形状が異なるものを組み合わせることでメリハリが生まれ、単調さは緩和されます。



「風吹くほとりに」 W600×D300×H360 (mm)



ウィローモスと混栽するように活着させることで、時を経るごとに羽状深裂の個性的な葉はより際立って見え、野趣に富んだ印象に。

### NOTE

ハイグロフィラ・ピンナティフィダの葉を赤く色づけたい場合は、十分な光量に加えてECA・プラスの添加が効果的。



ECA・プラス



ここではホーンウッドに活着させたプセファランドラが、まるで木が朽ちてそこを抛り所に新たな生命が育まれているかのような小さな景観演出を担っている。

「生命をつなく」 W1,800×D600×H600 (mm)



「古木と芽吹き」 W1,800×D600×H600 (mm)



### 自然感演出の名脇役

## MOSS STYLE

モス スタイル

流木の不自然な切り口の質感を緩和させたいとき、また時間経過で苔むした雰囲気を出したい場合に欠かせない。レイアウト素材の表面に薄く広げて巻きつけるのがポイント。



独特の葉姿は中景のアクセントに

## BUCEPHALANDRA STYLE

プセファランドラ スタイル

同じサトイモ科のアヌビアスと似ていますが、葉柄や葉面の独特な光沢感は一線を画す魅力があります。自然下では水に浸かる川岸や岩場の上に群落を形成しています。そのため、レイアウトでは流木、または石の窪みや際に複数株をまとめて配植することで、本来の自然景観を演出することができます。

### NOTE

生長は非常に緩やかで藻類が付きやすい。美しく維持するためには藻類除去能力の高い生体の導入を行いましょう。



ヤマトヌマエビ  
ケイ藻やアオミドロなどの緑藻一般の対処に効果的。



サイアミーズ・フライングフォックス  
頑固で除去しづらいヒゲ状の藻類の除去を得意とする。

NOTE モスの種類に応じて専用ラインを使い分けるのが上手く活着させるポイント。



モスコットン

苔類と同様の濃緑色で巻き付けても目立ちません。木綿糸のため活着するタイミングで自然に溶けてなくなります。

モスコットンで巻くのがオススメ  
ウィローモス/ビーコックモス/スパイキーモス/クリスマスモス/南米ウィローモス



テラライン

繊維のため水中でも溶けて切れません。活着するまでに時間がかかる種類の植物でもしっかり固定できます。

テララインで巻くのがオススメ  
フレイムモス/プレミアムモス/ウィーピングモス

## 活着系水草のオススメ 生体製品ラインナップ

こちらでは、現在ADAでラインナップしているオススメの活着系水草を「**BIO みずくさの森**」から5種類、「**侘び草マット**」から2種類、「**ジャングルプランツ**」から1種類ピックアップしてご紹介します。

# Stemmed Plants

### 経年で渋みを増した葉姿に **BIO プセファランドラsp. シンタン**

*Bucephalandra sp. 'Sintang'*

倒披針形の明るい緑葉を展開し、葉縁は緩やかに波打つ。ゆっくり生長してビターな雰囲気へと変化していく葉姿を楽しみたい。



### 深緑の小葉が魅力的 **BIO アヌビアス・ナナ プチ**

*Anubias barteri var. nana 'Petite'*

大ぶりの葉を展開する種類が多いアヌビアス・ナナの中でも本種は葉長1cm程度までしか生長しない小型種。



### 歳月を経た趣ある水景演出に **ジャングルプランツ ミクロソラム・トライデント**

*Microsorium sp. 'Trident'*

水生シダの一種で葉の先が複数に分かれるのが特徴。葉を密生させ水流にたなびいている様子は思わず見惚れてしまうほど美しい。



### 水中でも水上でも楽しめる **BIO プレミアムモス**

*Riccardia chamedryfolia*

明るくて細かい葉を展開する水生苔。生長は比較的緩やかなため、小型水槽やミニパルダリウムの下草としても重宝する。



### オールラウンダーな活着する有茎草 **BIO ハイグロフィラ・ピンナティフィダ**

*Hygrophila pinnatifida*

長さ15cm程度のノコギリのような個性的な葉が魅力。有茎草のため直接底床に植栽して育成することも可能。

### 赤褐色の繁みはエキゾチック **BIO ハイグロフィラ・ピンナティフィダ UK**

*Hygrophila pinnatifida 'UK'*

本種はさらに切れ込みの深い羽状深裂の葉を展開する。葉色も赤く色づきやすく、匍匐性も高い。



### ワイルドな荒々しい印象へ **侘び草マット スパイキーモス**

*Taxiphyllum sp. 'Spiky Moss'*

その名の通り先端がとがったような印象で盛んに枝分かれして上方向に生長する。一風変わった印象に仕上げたい場合にオススメ。



### 素早くボリュームを上げる **侘び草マット ピーコックモス**

*Taxiphyllum sp. 'Peacock Moss'*

水生コケの中でも強健種で外側に向けて生長する傾向にあるため、短期間でボリュームを出しやすい。



# Fern

D ● ● ▲  
**STYLE**  
 NEO GLASS AIR  
 Text\_Kota Iwahori

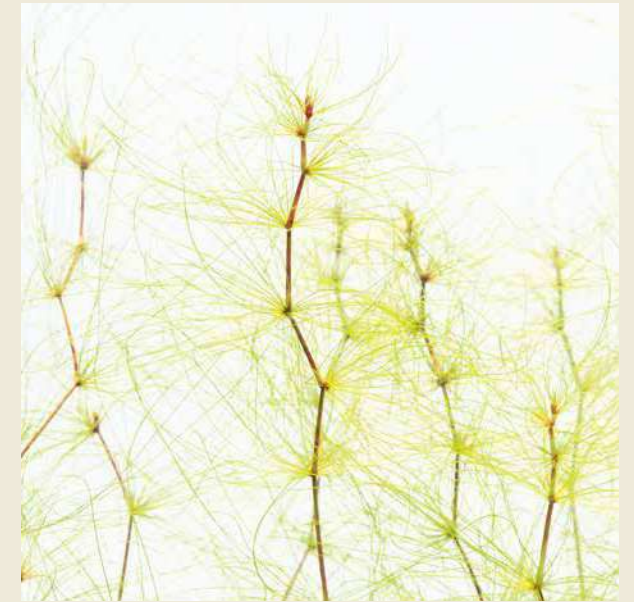
#27



## ネオグラス エアに 水草浪漫を込めて

ネイチャーアクアリウムではよく登場するカージナルテトラ。野生のカージナルテトラの群れの横にはいったいどんな水草が生えているのだろう、そう思ったことはないでしょうか。その答えの一つが今回の主役、エグレリア 'マナカプル' の名で流通しているヘアグラスの仲間です。ジグザグに伸ばしながら節毎に柔らかな針状葉をフサフサと展開させます。これに似た種類はオリノコ川やネグロ川に広く分布しており、その流域の魚にはとても身近な水草の一つなのでしょう。その証拠に、かつて天野尚が挑んだネグロ川上流の写真にはしばしばアマゾンの群れる魚とともにこの水草が撮影されています。今回の主役のように水草レイアウト水槽での登場は少ないものの魅力的な水草はたくさんあります。それらの自生地や生態を調べていくうちにいつの間にか思い焦がれる水草が見つかることもあるでしょう。もし、そんな水草に出会えたらぜひネオグラスエアで大切に育て楽しんでください。

不思議な姿をしている。自生地のこの水草の森にはカージナルテトラやディクロッス他、さまざまな熱帯魚が集うのだろう。



藻類発生抑制のためにレッドチェリーシュリンプを投入。殖えすぎたら他の水槽へ移動している。



### DATA

- ネオグラス エア W150×D150×H300(mm)
- パワーサンド・ベーシック S
- トロピカルリバーソイル
- 山水石
- エグレリア 'マナカプル'
- ショートヘアグラス (BIO)



# IAPLC CREATOR'S FILE #12 Insik Chung

世界トップレベルの水草レイアウトコンテストである「IAPLC」。このクリエイターズファイルでは、その上位入賞者にインタビューを行い、上達の秘訣や水草レイアウトに対するこだわりを紹介いたします。

インシク チャンさんのSNSアカウント



PROFILE

インシク チャン

Insik Chung

年齢 / 51歳  
 国名 / 韓国  
 職業 / 建築管理責任者  
 アクアリウム歴 / 15年  
 趣味 / 瞑想  
 過去の受賞歴 /  
 IAPLC2014 1041位  
 IAPLC2015 263位  
 IAPLC2016 645位  
 IAPLC2019 563位  
 IAPLC2020 500位  
 IAPLC2021 19位  
 IAPLC2022 169位  
 IAPLC2023 9位

作品に込めたメッセージが伝わり、  
安らぎを与え、その上で自然的。  
そんな水景の制作を心がけていきたい。

**Q** 水草レイアウトを始めたきっかけは何ですか？

始めた当初は、石や流木、水草を使って自分だけの景観を水槽の中に制作する過程を楽しんでいました。しかし、今はこの趣味を通じて自然を観察しながらその素晴らしさを知り、そして自然の原則を自分の生活に取り入れるようにしています。

**Q** 水草レイアウトのどのようなところに魅力を感じますか？

水草レイアウト水槽は水中に入らずともガラス越しに魚や水草が作り出す水中世界の特別な美しさを楽しむことができます。また、さまざまな器具を使いながら水中環境をコントロールし、自分だけの水中世界を作り出す満足感を得ることができます。

**Q** 今回のレイアウトのテーマやモチーフ、アイデアはどこから得ましたか？

以前は、自然を縮小したレイアウトをつくら

としていたので、自分が実際に見た自然の風景を参考にしていました。しかし今は、自然の姿を再現しようとするのではなく、東洋的感覚を捉え、レイアウトに落とし込むため、水墨画や白黒写真など、対象を単純化して表現されたイメージにアイデアを得ています。

**Q** レイアウトをする上でこだわりのグッズはありますか？

人工的に分断されたりしていないラフな素材が好きです。派手さや強烈さはありませんが、水草と組み合わせることで自然の景観を演出しやすい素材です。できるだけ直接自然から採取しています。

**Q** レイアウトを制作していく過程で、苦労した点や工夫した点はありますか？

IAPLC2023のために2度レイアウトをつくりました。水草の植栽まで進めましたが、よくあるレイアウトだと感じ、考えた末にやり直しました。次に制作したレイアウトでは、消失

岩の森 Aquarium Size W1,200×D600×H500(mm)

水草：プレミアムモス / ベトナムゴマノハグサ / アメリカンスプライト / パールグラス / ニューラージパールグラス / コブラグラス /

ボルビティス・ベビーリーフ / ミリオフィラム sp. ガイアナドワーフ / ロタラ・ナンセアン / プリクサ・ショートリーフ  
 魚種：ブルーレインボ



点の表現によく使われる小道をなくし、大きな石を配置して石に目がいくようにし、背景に小石や木の枝を使って奥行きのある景観にしました。自然に積み上げられた石のように見えますが、迫力、影、安心感ある水草スペースの演出のために配石はかなり試行錯誤しました。石はとても大きく重かったので配置するときは腕や背中が痛くなりました。

**Q** 水草や魚種の選定する上でポイントについて教えてください。

水草の大きさが植栽場所に依って景観に適しているかが重要だと思っています。

**Q** レイアウト制作でいつも心がけていることがありますか？

第一に見る人に伝えたいメッセージが作品の中で明確に表現されているかどうか。第二に見る人が作品を見て疲れない十分な余白があるかどうか。第三に自然的であるかどうか、という3点を重要視しています。

**Q** コンテスト入賞の秘訣はありますか？

IAPLCに応募し始めたころは、自分が満足できる作品を制作していました。最近は、ハードスケープ、繊細さの表現、水草の選定、写真の雰囲気など、重要な段階で周りの人の意見を聞くようになりました。その過程が影響を与え、審査員からの評価に繋がったのだと思います。

**Q** IAPLCに応募するきっかけ、また、醍醐味はどんなところにあると思いますか？

私にとって、IAPLCに応募することは、世界最大のフェスティバルに参加するようなものです。前年よりも上位になるために制作は毎回難しく、結果が出ないと悔しい思いもしますが、フェスティバル期間中は期待と興奮を胸に抱いています。それなので、毎年フェスティバル参加の準備をし、この素晴らしい趣味を楽しんでいます。

**Q** アクアリウムクラブに所属している場合は、その活動内容をお聞かせください。

水草レイアウト愛好家で運営する非営利プライベートクラブ「アクアギャラリーステイ」に所属しています。ステイでそれぞれが自分の水景を制作することで、コンテストの準備やさまざまなレイアウトの試作、情報交換や親睦を楽しみながら、定期的な公開セミナーや研修などを行い、水草レイアウトを盛り上げています。また、国内のアクアスケーパーとの交流しながら水景を進化させるため取り組んでいます。

**Q** 世界中の水草愛好家の皆さんにメッセージをお願いします。

IAPLCに参加したことがない方には、私が初めて参加した時と同じ感動を味わっていただきたいですし、皆がフェスティバルに参加し楽しんでほしいと思います。その経験は必ず特別で有意義なものになるはずです。



レイアウト制作のインスピレーションとなった風景のひとつ。



「アクアギャラリーステイ」の仲間たち。



レイアウトの方向性が定まるまで、かなりの時間と苦勞を要した。



出品作品の植栽時の様子。

水景クリエイター。それはADA社内における資格であり、多くの若手スタッフの目標にもなっています。ここでは、現在活躍中の5人の水景クリエイターに興味や今後の目標などをインタビューし、彼らの人物像に迫っていきます。

Text by Seifiro Chinen Photograph by Masatumi Takao



多くの方に  
憧れを抱いてもらえる  
作品をつくりたい

水景クリエイター岩堀康太。現在は第一生産開発部に所属。今回は入社13年目を迎える岩堀の思い出に残っているイベントやレイアウト制作のインスピレーションを探ってみようと思う。

これまで水景クリエイターとして数多くのイベントに携わってきた岩堀。その中でも特に思い出深いのが2012年と13年の2回にわたり行われたすみだ水族館と2015年のリスボン海洋水族館での巨大ネイチャーアクアリウム制作だという。「いずれも水草を用意する助手として参加しましたが、3回のビックプロジェクトに携わった経験があるのは現在活動中の5人の水景クリエイターで唯一私だけです。当時は入社して間もない新人でプレッシャーも大きかったです。それでも無事にミッションを遂行できたことは現在仕事をする上で大きな自信となっています。手探りながらも、必死に試行錯誤して結果それを成功させることは忘れ難い経験になると共に、その後の人生でも困難に直面したときに自らを支えてくれるのは間違いない。そんな経験を重ねるごとに人は大きく成長していくのだろう。現在、

第一生産開発部に所属する岩堀は水草の知識は社内でもトップクラスだ。「幼少期から日本固有の淡水魚や水草が大好きです。そのため週末になると自然の中に行って、山や沢歩きなどのアウトドアを楽しんでいます。そこで好きなコーヒをゆつくり味わうひときは最高です。自然の中でそういう遊びをしているうちに、水草によって好む環境にはつきりとした差異があることがわかります。それらをつぶさに観察すると自然な生育密度や他の水草や水生動物との距離感を知りながら、それらの美しさや尊さを知る

ことができます。そういう点ではプライベートの時間がレイアウト制作のインスピレーションになることもありますね。そう語る岩堀は、現在DOOAブランドに代表されるバルダリウムや植物のガラスケース栽培をメインに手掛ける。「今後は多くの方が自分の作品をきっかけに水草や熱帯植物の育成に興味を持ってくださいたいです」インドアグリーンの楽しみ方の幅を広げ、それを多くの方々に届けていきたいという熱い想いも持つ岩堀の今後の活躍が楽しみです。



A いずれの水景制作でも裏方として参加したが忘れ難い貴重な経験となった。B 自然の中に行く際に持っていく愛用のコーヒ1道具一式。知人から10年以上前に譲り受けた直火式エスプレッソメーカーはまだまだバリバリの現役。



ssp. HARAJUKU



ssp. HARAJUKU  
Official Instagram

最新のフロアの様子。「ADA LAB」の斬新な店舗スタイルは、この原宿の地でも通りかかるお客様の注目を集めるようです。

## カワイイ文化の発信地 原宿にADA LABが進出!?

今回はADA LAB GINZAの閉店から約2週間後の2月9日ラフォーレ原宿3Fにオープンした「ADA LAB ssp.HARAJUKU」の様子をお伝えします。まず、銀座から原宿という街への移転に驚かれた方も多くいらっしゃると思います、私たちスタッフも初めに聞いたときは驚きました。ラフォーレ原宿といえばファッションのイメージが強く、ネイチャーアクアリウム、バルダリウムのイメージとはかけ離れているように捉えられた方も多くいらっしゃるかと思います。店舗の面積も銀座店と比較すると小規模での展開となっておりますが、新しいインドアグリーンへの楽しみは新たな地でも大きな反響をいただいております。ADA LAB ssp.HARAJUKUでは特に2号鉢サイズの植物のパラエティにこだわり販売を行っております。銀座店では取り扱いのなかった品種なども並んでおり、お気に入りの植物に出会えるかも知れません。またガラスポット SHIZUKU、MARU 95を使用したミニバルダリウムワークショップ、リペアメンテナンスサービス、カスタムメイド、バルダミストケアの再充填なども引き続き承っております。店内展示のネイチャーアクアリウム、バルダリウムも小型ながらも必見です。3月末までの期間限定ショップとなりますが皆様のご来店を心よりお待ちしております。



引き続き、移転前と同様にワークショップやリペアメンテナンスなど各種サービスをご提供いたします。

### STAFF'S PICK UP



展示中のシステムバルダ60の様子。オープン時と比べても植物のボリュームが上がっています。こういった展示作品の変化もお見逃しなく。

ADA LAB ssp. HARAJUKU  
東京都渋谷区神宮前1丁目11-6 ラフォーレ原宿 3F  
※3月31日(日)までの出店



Aqua Design  
Amano  
Laboratory

# Report

Text  
Tomoko Kawakami

## Vol.03

ADAの体験型コンセプトショップ「ADA LAB」。現在、東京の「ssp.HARAJUKU店」、大阪の「UMEDA店」、北京にある「BEIJING SKPP店」の3店舗を展開中。各店舗の旬な情報を現地スタッフがリレー形式でお届けします。

# Closeup Jungle Plants

クローズアップジャングルプラント

## #08 Echinodorus 'Tanzende Feuerfeder'

Text: Seijiro Chinen



水草などの葉やランの花といった植物の持つ特徴的な姿をガラスケース栽培で楽しむことのできる生体製品「ジャングルプラント・シリーズ」。製品ラインナップの中から毎号1種にクローズアップしてその生態と作例を紹介します。お気に入りのジャングルプラントをシンプルなレイアウトで楽しみましょう！

Closeup  
Point



②水中葉は葉の縁が波打つのも特徴的。

①新葉は赤みが強く若々しい。

### DATA

■ **Jungle Plants** ..... エキノドルス・タンゼンテ・フォイフェーダー 1カップ

■ **Other Plants** ..... エキノドルス・テネルス (BIO) 3カップ

■ **Case** ..... ネオグラス エア W200×D200×H350 (mm)

■ **Substrate** ..... アクアソイル-アマゾンVer.2 700mL  
パワーサンド・ベーシックS 200mL

### 火の羽が踊るようなエキノドルス

今回クローズアップしたのはエキノドルス・タンゼンテ・フォイフェーダーです。本種は水上葉と水中葉で色味が大きく異なり、水中では錆色のような深みのある葉を展開し、ドイツ語の種名が示すような燃え盛る火のようには赤くならないようです。大型化するエキノドルスですが葉幅は比較的細いため、育成の仕方によりネオグラスエアのような小型のガラスケースで圧迫感がないのも魅力の一つではないでしょうか。作例では近縁のエキノドルス・テネルス (BIO) と組み合わせて水中の野趣が感じられるレイアウトにしてみました。

# Love ADA GOODS

ラヴ・ADA・グッズ

## #20 GREEN BRIGHTY NITROGEN

NA・DOCA・生体製品のさまざまなラインナップを展開するADA。ここでは各ジャンルの枠を超えてライターの好きなGOODSを紹介します。

### 楽しみの液体

このグッズは私の好きな佻び草たちを水中で長く楽しむときに必要不可欠なのです。もともと高密度な水草たちをさらに殖やし健康的な葉を展開してもらうためにたくさんの窒素を供給するべく日々の添加はもちろんのことトリミングを行う度に規定量〜1.5倍ほどで添加を行い健やかな生長を後押しできるような心掛けています。単栄養素のため水草の挙動や水質への影響も想定しやすく、ロゼットタイプの株を充実させる・下草を高密度で展開させる・有茎草の群生を維持するといった水草を大きくする、殖やすという点で楽しく使え重宝しています(ミネラルやニュートラルKとの併用も重要!)。さまざまな水草栽培の場面で迷わず添加することができます。また清潔感のある青い液体がソーラー RGBの光に照らされて輝く様は鑑賞性があるようにも思えて水槽の近くに置きたくなる存在ともなっています。この一本でありとあらゆる水草を栽培することができるわけではありませんが、ネイチャーアクアリウムを楽しむ上で多くの活躍を見せるグリーンブライティ・ニトロが私は好きです。

Text: Ryuji Ogawa



# ネイチャー コラム

NATURE COLUMN

「鳥か虫か、それとも獣か。」

第 37 回

文・写真／小川 龍司

常日頃からネイチャーに身を置くライターが身近な自然をテーマに季節ごとのコラムを発信していきます。



**飛** 行能力を有し、蚊や蛾など空飛ぶ虫たちを食べる生き物です。その行動を実現する翼と器官を持っている点からは鳥類のようにも見えます。名前は漢字で書くと蝙蝠となり、その小さな姿から時代によっては虫の仲間として考えられていた背景もあります。しかし彼らは歴とした哺乳類であり、言うならば空飛ぶ獣なのです。逸話として鳥と獣と、双方のグループに対していい顔をするどっちつかずのコウモリという言葉方もしてしまいう可哀そうな(身勝手な?)生き物と思われるかもしれませんが空へ進んだたくましい獣だと思えます。多くの哺乳類が生活の場を地上や樹上、海中という選択をしている中で空を舞台として選んだ開拓者なのです。空を飛ぶためには強靱な筋力と軽量の自重という相反する肉体を獲得しなければなりません。機能的でも簡略化された骨格や臓器といった重さの工夫はもちろんのこと、充分な筋肉とそれを支えるエネルギー源確保が成立

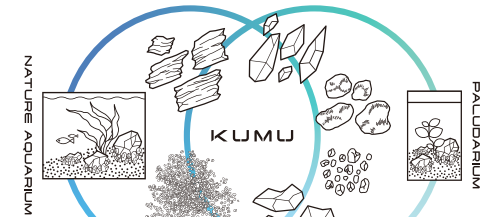
しなければならず、食べるために絶えず飛び交う姿の懸命さは感慨深くも思えます。写真はヤマコウモリという種類で、私のフィールドでは季節限定で通過性の生物になります。渡る性質があるようで、常に観察できるわけではないので見つけたときには思わず拳を握って喜んでしまいます。でもすぐに拳を開いて撮影へと行動を移せたので、薄暗い空を舞う姿をなんとか記録できました。あまり知られていませんが日本の翼手目は冬眠するものと渡りを行うもの、暖かい地域で過ごし続けるものと多様な生き方が存在します。ヒナコウモリ属はかなり聞き取りやすい声を出してくれているので探しやすいです。特徴的なキツキツキツとかチツチツチツとか聞こえるやや高音のため発見に役立ちます。さて、これから暖かい季節となりさまざまな生き物が活発化していきます。日の入り前後に素早く宙を舞い回るコウモリたちを含めた皆さんの生き物を見つけにネイチャーへかけてみてはいかがでしょうか。

## INFORMATION

ADA LAYOUT MATERIALS  
**KUMU**

KUMU is an ADA original decorative materials series for Nature Aquarium and paludariums. Combine several items to create scenes of nature. Enjoy layout conception with greater freedom.

自由な発想で組み合わせて楽しむ



「KUMU」は、ネイチャーアクアリウムやバルダリウムのレイアウトに使用する化粧素材です。石や流木、砂、砂利などの24種類のラインナップの中から、お好みの素材を組み合わせることで表現の幅が広がります。KUMUは1パックの量は試しやすいよう適量で、素材のカテゴリーごとにST=石、GR=グラベル、SA=砂、WO=流木とナンバリングしています。各包装はシュリンクや脱気処理を施し、素材が見やすく選びやすいクリーンなパッケージを採用しました。



ラインナップなど詳細はこちら

2024年3月下旬発売予定

※全国のADA販売特約店でお求めください。

## New Style Indoor Green

新しいインドアグリーンのカタチ

### CELL

EMERALD / AMBER / CLEAR

セル | エメラルド / アンバー / クリア

Lagenandra meeboldii 'Amaranth'  
Columnea bilabiata  
Homalomena humilis Silver

Release Date  
2024. Early Spring



#### STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO., LTD.  
©2024 Printed in JAPAN

Publisher  
天野しのぶ

Art Direction  
NATURE AD DESIGN

Design  
丸山 悟司 / 市川 亮 / 高遠 将史 / 板橋 広夢

Editor 岩堀 康太 / 小川 龍司 / 斎澤 亮介 / 知念 政次朗 / 川上 朋子  
総監修・大岩 剛 / 写真監修・阿部 正敏

Published by  
株式会社 アクアデザインアマン  
<https://www.adana.co.jp>

Printed by  
株式会社山田写真製版所

NEXT AQUA JOURNAL

May 2024 vol.343 / 2024年4月10日(水) 発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、ADAホームページで公開しています。

# New Style Indoor Green

GLASS POT SHIZUKU  
GLASS POT MARU  
NEO GLASS AIR  
NEO GLASS PALUDA  
SYSTEM PALUDA  
TERRA BASE  
MIZUKUSA MIST WALL  
CELL  
MAGNET LIGHT G  
SOL STAND RGB  
PALUDA LIGHT  
MISTFLOW



## ニュースタイル・インドアグリーン

2024年春、

DOOAはパルダリウムに特化した  
新ブランドとして生まれ変わります。

DOOAのガラスケース栽培によって、  
さまざまな植物の育成がより身近に楽しめるようになり、  
暮らしの中に取り込みやすくなりました。  
これからも、DOOAは自然への憧れを満たす、  
環境に配慮した新しい

インドアグリーンを提案してまいります。